

平成27年度
事業報告書

社会福祉法人
名張市社会福祉協議会

目 次

I	【 法人本部拠点 】	
I-1	法人運営事業	1
	(1) 法人本部	
	(2) 法人運営事業	
I-2	地域福祉増進事業	6
	(1) 地域福祉増進事業	
	(2) 共同募金配分事業、歳末たすけあい運動配分事業	
I-3	なばり暮らしあんしんセンター	15
	(1) 福祉サービス利用援助事業	
	(2) 成年後見事業	
	(3) 生活困窮者自立支援事業	
	(4) 地域福祉金庫貸付事業	
	(5) 生活福祉資金貸付事業	
	(6) 名張市国民健康保険出産費資金貸付事業	
I-4	善意銀行事業	23
	(1) 適正な運用管理	
	(2) 計画的な運用	
I-5	日本赤十字社名張市地区事業	23
	(1) 日本赤十字社名張市地区事業	
II	【 在宅福祉サービス拠点 】	25
	(1) 事業経営管理体制の整備	
	(2) 事業別取組み実績	
	1. 老人デイサービス事業	
	2. 訪問看護事業	
	3. 居宅介護支援事業	
III	【 昭和保育園拠点 】	31
	(1) 事業の概要	
	(2) 適切な運営体制確立	
	(3) 特別保育事業	
	(4) マイ保育ステーションの取組み	
	(5) 「子ども子育て支援新制度」に沿った事業展開	
IV	【 総合福祉センターふれあい拠点 】	36
	(1) 総合福祉センター指定管理事業	
V	【 老人福祉センター「ふれあい」拠点 】	38
	(1) 老人福祉センター指定管理事業	
	(2) 介護予防事業	

I 【法人本部拠点】（総務課・地域福祉課・生活支援課）

I-1. 法人運営事業

（1）法人本部

総務課内担当業務を明確化することによって、安定的な財務運営と財務状況の透明性の確保を推進しました。

また、社会福祉法人改革への迅速な対応・対策に向けて、より効率的で効果的な事務局体制の在り方について協議検討しました。

（2）法人運営事業

1. 適正な経営管理

①理事会の適正な運営

事業計画・予算、事業報告・決算についての認定、組織構成会員の入会及び役員等の選任を行いました。

開催日	議案及び審議事項
第1回 5月21日（木）	1) 平成26年度事業報告の認定について 2) 平成26年度決算の認定について 3) 評議員の選任について 4) 組織構成会員の入会について 5) 平成26年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 6) 平成27年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について
第2回 7月8日（水）	1) 副会長の選任について 2) 評議員の選任について 3) 組織構成会員の入会について
第3回 9月17日（木）	1) 補正予算（第1号）について 2) 評議員の選任について 3) 組織構成会員の入会について 4) 特定個人情報保護規程の制定について 5) 就業規程の一部改正について
第4回 12月17日（木）	1) 衛生管理規程の制定について 2) 就業規程の一部改正について 3) 懲戒委員会規程の一部改正について 4) 役員及び評議員の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 5) 組織構成会員の入会について
第5回 3月23日（水）	1) 経理規程の一部改正について 2) 名張市善意銀行設置及び管理運営規程の一部改正について 3) 補正予算（第2号）について 4) 平成28年度事業計画について 5) 平成28年度当初予算について

	6) 組織規程の一部改正について 7) 組織構成会員の入会について 8) 評議員の選任について 9) 事務局長の選任について
--	---

②評議員会の適正な運営

理事会で認定を得た事業計画・予算、事業報告・決算等重要事項の議決の他、理事の選任について承認を得ました。

開催日	議案
第1回 5月22日（金）	1) 平成26年度事業報告の承認について 2) 平成26年度決算の承認について 3) 理事の選任について
第2回 6月30日（火）	1) 理事の選任について
第3回 9月18日（金）	1) 補正予算（第1号）について
第4回 3月28日（月）	1) 補正予算（第2号）について 2) 平成28年度事業計画について 3) 平成28年度当初予算について 4) 役員の選任について

③役員会の開催

7月31日（金）に開催し、労務管理上の課題について審議しました。

④監事監査の開催(年2回)

ア. 決算監査5月11日（月）

- 議題 1) 平成26年度決算報告について
 2) 平成26年度事業報告について

イ. 中間監査11月12日（木）

- 議題 1) 平成27年度上半期の事業報告について
 2) 平成27年度上半期の経営状況について
 3) 理事の出席状況について

⑤経営会議の運営

法人の経営に係る課題を共有して、健全な経営基盤を確立するとともに、効果的・効率的な法人運営を図るため、経営会議を20回開催しました。

理事会・評議員会の議案や財務、労務管理上の課題等について協議しました。

⑥安定的な財務運営と財務状況等の透明性の確保

顧問税理士の指導のもと、関係規程に沿いながら適切な税務及び会計事務を行いました。また、「社会福祉法人会計基準」及び運用指針等の改正に対応した規程の整備を行いました。

⑦リスク・マネジメント体制の整備

マイナンバー制度の導入にかかる特定個人情報の保護について、規程や環境の整備を行いました。

⑧施設・財産管理

保有する資産・財産の管理を適正に行いました。老朽化した昭和保育園の機能回復に注力を注ぎ、ホールの空調設備の更新の他、保育室の飛散防止フィルム工事や、乳児室のカーペット張替等の改修を行いました。

2. 社協会員の増強

①組織構成会員の拡充

1世帯1会員を目指して、地域づくり組織へ依頼し会員の募集をしました。また、組織構成会員への加入依頼を行いました。

組織構成会員の内訳

(平成28年3月末現在)

種 別	会員数
第1種 地域づくり組織	15
第2種 民生委員児童委員協議会	8
第3種 社会福祉事業施設	10
第4種 障害者団体等当事者団体	10
第5種 ボランティア団体	115
第6種 その他社会福祉に関係のある団体	17
第7種 社会福祉関係行政機関	1
第8種 学識経験者	2
合 計	178

②組織構成会員の活動活性化に向けた取組み

活発な地域福祉活動の促進を目的とした、組織構成会員対象の研修会を開催しました。

ア. 「地域における支えあいについて」研修会

開催日 2月16日(火)

講 師 名張市社会福祉協議会 会長 山本 順仁

イ. 「なばり暮らしあんしんセンターについて」研修会

開催日 2月16日(火)

講 師 名張市社会福祉協議会 生活支援課長 藤田 昌世

ウ. 「財務諸表の見方について」研修会

開催日 2月23日(火)

講 師 税理士法人アチーブメント 税理士 廣野 一三 氏

3. 人事労務管理

①人事考課制度の適切な運用

人事考課制度の適正運用に不可欠な、考課者の資質向上のための研修を実施しました。

ア. 新考課者研修 4月6日(月)

イ. 考課者研修 9月24日(木)、1月28日(木)

②職員研修の効果的な実施

職員の階層に合わせた階層別研修と、正規職員・臨時職員を対象とした全体研修を実施しました。

ア. 階層別研修

- ・新任研修 入職した正規職員を対象に合計3回実施
- ・新リーダー研修 12月10日（木）新たに昇格した職員対象
- ・リーダー研修 12月10日（木）
- ・ステップアップ研修 10月 8日（木）、11月12日（木）、12月10日（木）
- ・人事マネジメント研修 11月26日（木）

イ. 全体研修

- ・セルフケアとストレスチェック制度研修 1月21日（木）
- ・人権研修会 2月24日（水）

③職員説明会の開催

正規職員・臨時職員を対象とした職員説明会を3回開催し、法人運営やマイナンバー制度等について説明を行いました。

- ア. 6月19日（金） 労務管理等に係る状況について
- イ. 9月29日（火） マイナンバー制度について
- ウ. 3月24日（木） 平成28年度法人運営体制、平成28年度組織体制の改編、平成28年度事業計画について

④給与規程見直しへの取組み

社会保険労務士と契約し、給与体系の見直しや、法令への対応、取り組むべき課題等について、年11回の協議の場を持ちました。

⑤衛生委員会の適切な運用

衛生委員会を毎月開催し、主にストレスチェック制度について協議をしました。また、年間安全衛生スローガンの各事業所への掲示や、メンタルヘルスセルフケア研修への職員の積極的な参加について啓発を行いました。

⑥労働時間の適正管理と過重労働防止に関する対策の実施

職員ひとり一人の労働時間を集計し、毎月の経営会議や衛生委員会で報告を行いました。

長時間労働を行った際は、「疲労蓄積度自己診断チェックリスト」で職員の健康状態を把握するとともに、希望する職員は産業医による面接指導を受けることができる仕組みを作りました。

また、タイムレコーダーの導入により、客観的データによる職員の労働時間の把握と、適正な労働時間の管理を行いました。

4. 広報啓発

広報作業部会を中心として、社協が行う事業やさまざまな活動状況を紹介するとともに、地域福祉やボランティア活動、各種募金、相談業務の案内等積極的な情報発信に努めました。

①社協だより「ほほえみ」の発行

年6回（奇数月）伊賀タウン情報ユーの紙面に社協だより「ほほえみ」を掲載しました。

また、毎回紙面について法人内アンケートを実施し、より見やすい紙面づくりを進めました。

②ホームページを活用した情報公開と発信

ア. ホームページ上で社協の概要、活動内容、財務諸表等の情報を公開するとともに、福祉やボランティアの情報、イベントや各種募金についての情報発信を行いました。

イ. 情報公開と情報発信をする場としてのホームページを適切に運営・管理するため、随時情報を更新し、利用者や参加者の利便性の向上を図りました。

月平均アクセス数 5,130 件

③メディア活用による情報発信

新聞や地元TV等に情報提供し、イベント開催や当会の取組みについての情報発信を行いました。

5. 社会福祉大会の開催と福祉功労者の顕彰

第45回名張市社会福祉大会を11月15日(日)アドバンスコープADSホールにて開催しました。

第1部 顕彰

第2部 大会記念講演会

テーマ「名張市の福祉と未来について考えよう！」

講師 桜美林大学大学院 老年学研究科 教授 白澤 政和 氏

パネルディスカッション

テーマ「地域でともに暮らすための支えあい活動」

パネリスト 名張市長 亀井 利克 氏

すずらん台ライフサポートクラブ 代表 大橋 健 氏

名張市社会福祉協議会 会長 山本 順仁

6. 福祉団体の自立運営支援

福祉団体事務に関する覚書を締結し、名張市老人クラブ連合会・名張市身体障害者互助会・名張保護司会・名張市遺族連合会の組織体制に合わせて、それぞれの団体の自立に向けた支援を行いました。

7. 追悼式開催支援

各地域で開催される追悼式に対して、1柱につき360円の助成を行いました。

8. とれたて名張交流館事業への参画

参画コンセプト「福祉のおみせ」の啓発を目的に、例年開催するイベントに加え、ケーブル放送局とタイアップし「福祉のおみせ」啓発用映像コンテンツの制作を行いました。制作した映像については、11月に延べ42回オンエアされ、DVD作品化し、交流館内TVモニターにて随時放映中です。これらの財源については、福祉応援寄付金を活用しました。

①交流館イベント「福祉のおみせ 出前出店！生産者登場！」

11月29日(日) 午前10時～午後3時 登録福祉団体中5団体参加で対面販売

②映像コンテンツ「福祉のおみせって知ってますか？」

15分作品 登録福祉団体中6団体紹介

I-2. 地域福祉増進事業

(1) 地域福祉増進事業

1. 地域福祉活動計画の推進

①第3次名張市地域福祉活動計画の推進

第3次名張市地域福祉活動計画の初年度として、計画に基づき地域福祉の総合的な推進役としての役割や使命を踏まえ、各地域づくり組織、民生委員児童委員協議会（以下「民児協」という。）、関係福祉団体や行政との連携のもと、基本目標を達成するために各事業をすすめました。

②名張市地域福祉活動計画推進委員会の開催

第3次名張市地域福祉活動計画の進捗状況の確認、評価、見直しのため、名張市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

実施日	3月3日（木）	推進委員	5名
-----	---------	------	----

2. 小地域ネットワーク事業

①地域担当職員（コミュニティソーシャルワーカーの配置）

地域福祉課職員4名（社会福祉士等）が15地域を担当し、活動者とともに地域福祉活動を推進するため、地域づくり組織や民児協の会合・行事等をはじめとする地域活動の場へ出向き、情報収集や提供、相談や助言を通して活動支援に取り組みました。

ア. 地域の活動者や住民からの問い合わせ相談

相談区分	新規	継続	延べ	相談区分	新規	継続	延べ
活動支援	45	63	108	生活支援	11	28	39
情報提供	68	114	182	その他	88	97	185
職員派遣	44	23	67	計	256	325	581

イ. 地域の会議や事業等への参加状況

区分	会議や事業	ふれあい・いきいきサロン
件数	45	52回（30サロン）

②救急医療情報キットによる安心ネットワーク事業の推進

ア. 更新確認をきっかけにした見守りのしくみづくり

救急医療情報キットの利用にあたり、民生委員・児童委員をはじめ、まちの保健室等関係機関、団体と日ごろから情報交換や連絡調整を行い、見守りの一助となるようすすめました。また、民生委員・児童委員の協力により、高齢者実態調査の機会に合わせて更新確認の声かけを行ってもらい、社協職員による更新確認と合わせて、個別の相談支援に取り組み、漏れのない見守りのしくみづくりをすすめました。

平成27年度申込	280世帯・440名
利用者数	3,145世帯・4,736名（利用廃止：423世帯・689名）
救急隊による情報キット活用件数	35件 期間：平成27年1月1日～平成27年12月31日

③住民による生活支援サービスへの取組み支援

ア. 情報交換の場の開催（地域ささえあい活動連絡会議）

住民相互のささえあい活動に取り組む地域に対して、活動者同士の情報交換や意見交換の場を設け、活動に必要な情報提供や活動上の課題解決に向けた活動者同士の相互支援、また、新たに立ち上げる地域の組織化支援等を行うことを目的に地域支えあい活動連絡会議を実施しました。

地域支えあい活動団体	7 団体（うち平成 27 年度活動試行 1 団体）
地域支えあい活動連絡会	①7 月 16 日（木）22 名／7 団体 3 機関
	②9 月 29 日（火）22 名／7 団体 2 機関
	③1 月 29 日（金）20 名／7 団体 2 機関

イ. 地域支えあい活動に係る情報整理

名張市では「地域ささえあい～線から面に～」として、地域づくり組織が母体となった有償ボランティアの組織化をすすめています。こうした中、10 月から「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」が実施されました。今までの地域ささえあい活動を更なる住民相互のささえあいへつなげるため、現在活動している 6 つの地域ささえあい活動団体に対し、ヒアリング調査を実施しました。

ヒアリングにより団体としての体制（活動・財源・人材）や地域ニーズ等活動情報の整理を行い、今後の活動にむけての課題を検討しました。

実施期間	9 月 1 日（火）～18 日（金）
検討された課題	①不足する生活支援サービスについて ②介護予防・生活支援サービス事業の要件や実施内容 ③「住民相互の支えあい活動指針」の必要性について ④生活支援コーディネーターの配置について

ウ. 地域ささえあい活動の立ち上げ支援

美旗地域での有償ボランティア（地域ささえあい）活動の実施に向け有償ボランティア準備委員会に参画し、情報提供、サポーター説明会等「はたっこサポート」（市内 7 か所目）の立上げ支援を行いました。

期 間	平成 27 年 6 月～平成 28 年 3 月 計 10 回
内 容	・他地域の活動状況などの情報提供 ・地域における支えあい活動に対するニーズ調査の協力 ・サポーター養成にかかる支援 等

3. ボランティアセンター事業（福祉まちづくりセンター事業含む）

名張市ボランティアセンターは、ボランティアコーディネーターが中心となり、総合福祉センターふれあいを拠点に、福祉まちづくりセンター（サテライト）と一体的に事業を展開しました。ボランティアの活動拠点、そして、見守りや買い物支援などの生活支援サービス拠点となることで、多くの住民のみなさんの社会参加の実現に向け取り組みました。

①ボランティアセンター運営委員会の運営

社会情勢の変化に伴い、住民のニーズも多様に変化する中で、新たなボランティア活動

の展開が期待されています。ニーズを的確に把握するためのアンテナ機能の充実、他団体との協働、プラットフォーム機能の発揮、地域福祉の「担い手」となる養成事業などボランティア活動に関する情報共有や地域課題解決に向けた取組みを進めるためにボランティアセンター運営委員会を開催しました。

第1回	7月9日(木)委員：7名、オブザーバー：1名 内容：傾聴力UP及び傾聴ボランティアの養成研修について 災害ボランティアセンターの設置・運営体制の整備 ふれあいフェスティバルの開催について
第2回	2月29日(月)委員：9名、オブザーバー：1名 内容：平成27年度ボランティアセンター及び福祉まちづくり センター報告について 等

②相談・活動支援

ア. ボランティアコーディネーターによる相談・活動支援

ボランティア登録数	165 団体 (延べ 3,642 人) ※サロン 78 団体含む 個人ボランティア受入登録施設 15 施設
	個人ボランティア 379 名 ※アドバイザー、ふれあい隊、災害ボランティア、施設含む

イ. 相談実績 (相談区分と件数)

相談区分	新規	継続	延べ	相談区分	新規	継続	延べ
ボランティア依頼	65	256	321	情報提供	15	43	58
ボランティア希望	32	49	81	情報発信	3	2	5
活動支援	11	4	15	その他	26	13	39
				計	152	367	519

ウ. 配食ボランティアグループ活動実績 (地域福祉活動助成対象団体)

配食	10 団体/ 9 地域	年間配食数	17,770 食	対象者数	566 人
会食	2 団体/ 2 地域	開催日数	536 日	延べ利用者数	906 人

エ. ボランティア活動保険・行事用保険等の加入手続き

安心して活動ができるための基礎環境の整備としてボランティア活動保険をはじめとした全社協補償制度の加入促進を図りました。

保険の種類	加入件数	加入団体数
活動保険	822 名	38 団体 813 名・個人 9 名
行事用保険	51 件	20 団体 2,673 名
福祉サービス総合補償	4 件	4 団体 活動従事者 135 名
事故対応件数	活動保険/傷害事故/請求 1 件、補償外 0 件	

オ. 活動の場の提供 (福祉まちづくりセンター)

<福祉のおみせ>

フリースペースを活用し、「福祉のおみせ」を出店いただきました。

出店団体
名張育成園とも・ほっぷ・ういず、Kobo れもんぐらす、赤目の森作業所、アガペの家 サンフラワー名張ファクトリー、あぐりの杜

〈個人・ボランティア団体等によるイベント参加実績〉

活動者のみならず、広く住民に周知しボランティア活動にふれてもらうため、遊び感覚で参加できるイベントを実施し、センターやボランティア活動の周知に努めました。

イベント開催回数	参加延人数（協力者含む）
549 回	7,443 人

③ネットワークの構築

ア. ボランティアアドバイザー連絡会の開催

ボランティア活動に関する相談支援を広げるため、連絡会を行いました。

登録ボランティアアドバイザー数	9 名
連絡会	年 4 回（出席 4 名、延べ 16 名）

イ. 配食ボランティアグループ連絡会、研修会の開催

配食ボランティア活動者同士の情報共有や課題解決に向けた取組みの協議などをすすめる連絡会並びに、事故なく安心して配食ボランティア活動を実践してもらえるように、活動支援の一環として時期に応じた食品衛生に関する研修会を開催しました。

連絡会	配食ボランティアグループ 10 団体 2 月 15 日(月) 参加者 16 名 / 9 団体
研修会	① 6 月 18 日(木) 参加者 53 名（8 団体、6 公民館・市民センター） テーマ：夏場における食中毒及び手指消毒の重要性 ② 8 月 28 日(金) 参加者 10 名（10 団体） テーマ：料理教室について ③ 11 月 13 日(金) 参加者 54 名（7 団体、6 公民館・市民センター） テーマ：ノロウィルスの予防について

ウ. ふれあい・いきいきサロン交流会の開催

ふれあい・いきいきサロン活動者同士がそれぞれの実践活動における情報共有や活動者同士の交流を行うことで、それぞれの活動の充実と活動者間のつながりのきっかりとして実施しました。

実施内容	2 月 10 日（水）参加者 42 名 27 サロン 地域で活動するボランティア団体の活動紹介、交流会
------	--

エ. 福祉協力校連絡会（小学校 14 校・中学校 5 校・高等学校 2 校・高等専門学校 1 校）の開催

福祉協力校間の情報共有を図り、福祉教育活動を推進するための連絡会を開催しました。

連絡会	① 5 月 28 日（木）参加 21 校 ② 3 月 1 日（火）参加 21 校
-----	--

オ. ふれあいフェスティバルの開催

ボランティアセンター、運営委員会メンバーを含む実行委員会を立ち上げ、地域イベント（隠街道市）と共催しボランティア活動を含む地域福祉活動の啓発や住民同士のつながりの場としてのふれあいフェスティバルを開催しました。

協力ボランティア団体	ブース出展団体：21 団体、ステージ発表団体：7 団体 パネル出展団体：26 団体
協力個人ボランティア数	事前準備 10月 9日（金）：5名 ふれあいフェスティバル 10月10日（土）～11日（日）：82名
内容	ボランティアグループ活動発表、ブース出展 パネル展示、スタンプラリー、プラネタリウム、体験教室等

④人材育成

ア. 地域福祉「担い手」養成研修

「地域で何か人のために活動してみたい」とこれから地域福祉活動を始めようと考えている方や、現在、市内各地域で地域福祉に取り組んでいただいている方を対象に養成講座を開催しました。

実施講座	内容
生活支援員養成講座 (生活支援課協働事業)	期間：10月22日（木）～12月10日（木） 研修修了者：29名
スクエアステップ リーダー養成研修	実施日：3月10日（木）、3月17日（木）、3月24日（木） 研修修了者：37名
スクエアステップ 教室	期間：4月～3月 毎月第2・4水曜日 全23回 延べ参加者：280名
脳の健康教室	4月8日（水）説明会参加者：32名 4月22日（水）サポーター養成研修：10名 第1クール（20回）5月13日（水）～9月30日（水）登録25名 第2クール（20回）10月7日（水）～2月24日（水）登録22名
防災ボランティア 養成講座	期間：11月29日（日）～12月19日（土） 参加者：55名 6日間（18講座）
傾聴ボランティア 研 修 会	期間：1月12日（火）～2月24日（水） 参加者：43名 講義/体験： 講師 開発道子氏 / 奥山恵子氏 施設実習： 4施設、5サロン 買い物支援： 車椅子でお買い物体験（イオン名張店）

イ. ボランティアアドバイザーとの協働による活動へのきっかけづくり（福祉まちづくりセンター）

<楽しさ発見！ボランティア♪の実施>

ボランティアアドバイザーの趣味・特技を生かし、住民が楽しみながら参加できる企画を通じて、ボランティア活動を身近に感じて関心を高めることを目的に実施しました。

第1回	5月24日（日） 工作教室 参加者18名（子ども12名、大人6名）、ボランティアアドバイザー3名
-----	---

第2回	11月24日(火) フラワーアレンジメント 参加者 17名、ボランティアアドバイザー3名、あじさいグループ2名
-----	--

⑤災害、防災への取組み

ア. 防災ボランティア養成研修の実施

名張市民の防災に対する意識の啓発、知識、技能の習得や向上を図るため、地域、職場等での防災活動(平常時、災害時)の中核となる人材、また災害時には、地域内の声を拾い、伝えていただく災害ボランティアセンターと地域の橋渡し役として活動いただける人材として防災ボランティアを養成しました。

実施内容 (再掲)	期間：11月29日(日)～12月19日(土) 参加者：55名 6日間(18講座)
--------------	---

イ. 災害ボランティアセンター設置・運営体制整備

防災ボランティア養成研修修了者に対し、地域防災に関する啓発及び災害ボランティアセンターの設置・運営体制に対する意見交換会を開催しました。

実施内容	3月22日(火) 参加者：29名 ・伊賀市災害ボランティアセンターの取組みについて、意見交換会
------	--

ウ. 関係機関との連携

名張市、みえ防災コーディネーター連絡会名張支部との地域防災にかかる連携協議のため、懇談会に参加し次年度に向けた企画検討を行いました。

懇談会の内容	2月26日(金) 参加者：16名 ・名張市総合防災訓練について ・みえ防災コーディネーター連絡会名張支部の今後について ・名張市災害ボランティアセンター設置運営マニュアルについて
--------	--

⑥地域福祉活動を多くの住民に広く知ってもらうための広報啓発活動

ア. 地域福祉活動情報紙「なばりんく」の発行

市内各地域で実践されている福祉課題への取組みをより多くの人に知ってもらい、活動者や協力者を増やしていくことを目的に「なばりんく」を発行しました。また、「なばりんく」掲載の中から子どもたちに知らせたい地域活動を取り上げた子ども版を作成し、小学校のクラス掲示により情報発信しました。

発行回数等	No.25～30(年6回)偶数月に発行 市内41か所に配置
発行回数等	No.6～7(年2回)9月、2月 小学校191クラスに掲示

イ. フェイスブック、ツイッター、広報紙等による活動紹介(福祉まちづくりセンター)

フェイスブックやツイッター、地域の広報紙等の設置、ホームページや「福まち新聞」による活動紹介、イオン名張店1階名張忍ラウンジでの掲示や館内放送の利用など、情報発信、広報啓発に取り組みました。また、センターフロア内にボランティア活動団体紹介のパネル展示をはじめ、ボランティア団体とともにテレビ動画モニターによる活動紹介を作成し上映を行いました。

⑦子どもたちがボランティア活動に気軽に参加できるきっかけづくり

ア. 社会福祉施設を利用している人々や職員と共に活動し、交流を深め、子どもたちがボランティア活動へ参画するためのきっかけづくりを実施しました。

ふれあい隊活動	7月28日(火)～29日(水) 参加児童14名・生徒1名・教師4名 国津園、通所介護「ふれあい」、昭和保育園
	7月24日(金)～8月29日(土)4日間 参加児童3名・生徒4名 昭和保育園、世代間交流事業
	12月6日(日)～25日(金)5日間 参加児童5名・生徒3名 ふれあいサロンゆこゆこ、ディサービスそらまめ、昭和保育園、世代間交流事業
	3月29日(火) 参加児童1名 ディサービスそらまめ

イ. 小・中学生を対象とした、「ふれあいだより」の発行、小・中学校への学級掲示

発行回数	No.28～30(年3回)7月、11月、1月発行
設置場所	256クラス
内容	ふれあい活動・ボランティア活動等への参加者募集、活動報告

⑧音楽を通じて交流できる場の提供

高齢者や障害者、子育て中の親子等住民を対象に「みんなでいっしょに唄いませんか」を開催しました。

実施内容	毎月1回(計12回) ふれあいホール 411名(初参加36名)
------	---------------------------------

⑨おもちゃ図書館事業を通じた交流機会の提供

ア. おもちゃ図書館利用者数

開館日数	195日
利用者数	1,573名(大人664名、子ども909名)初来館119組
協力ボランティア	3名(活動日数33日)

イ. 移動おもちゃ図書館の実施

おもちゃ図書館の利用促進と地域の子育てサロン活動支援の一つとして、職員とボランティアが子育てサロンへ出向きました。

実施内容	5回(ボランティア6名)
------	--------------

ウ. おもちゃ図書館サロン事業「おもちゃばこ」の実施(福祉まちづくりセンター)

実施内容	第2・4日曜日(保護者148名 子ども219名)
------	--------------------------

⑩家族会等の活動支援

ア. 家族介護者の会「楓の会」事務局運営支援

・介護者サロン「さくら喫茶」の開催

家族介護者の会「楓の会」との共催により介護者同士が日頃の介護についてお茶を飲みながら話し合う場を持ちました。また、介護の合間に簡単に出来る手芸等を参加者同

士で教え合ったり、コープみえ等協力機関による消費者被害防止講話を実施しました。

開催日・場所	毎月1回(計12回)福祉まちづくりセンター 79名
--------	---------------------------

・「在宅介護者のつどい」の開催

「楓の会」との共催により、食事をしながらゆったりとした時間の中で介護者同士が、日頃の介護についての悩みを共有したり励まし合ったり、心のリフレッシュと共に介護者同士の交流を図りました。

実施日・参加者数	9月30日(水) 参加者17名(楓の会16名、一般1名)
----------	------------------------------

イ. 精神障害者家族会「なばるの会」との連携

家族会との連携を図るため、定例会に出席し情報提供や活動支援に取り組みました。

ウ. 障害者スポーツ大会実行委員会事務局運営支援

3 障害(知的・精神・身体)を代表する団体が主体となり関係機関・団体等が参画して組織する「障害者スポーツ大会実行委員会」の事務局として、大会運営並びに開催支援を行いました。

実施日	10月3日(土)前日準備 参加者44名
参加者数	10月4日(日)参加者532名(参加者402名、スタッフ等130名)

(2) 共同募金配分事業、歳末たすけあい運動配分事業

①名張市共同募金委員会の運営

住民参画による共同募金運動をすすめるため、三重県共同募金会とともに「名張市共同募金委員会」活動を展開しました。

運営委員会	委員 10名 開催5回、監事2名 監査 1回
-------	------------------------

②共同募金運動の展開

共同募金委員会としての運動展開

ア. 地域づくり組織とともに、戸別募金への協力と活用周知

各地域づくり組織の会合等において、募金協力依頼と活用についての説明を行い、理解と協力をお願いしました。

イ. 法人募金、職域募金、学校募金の協力拡大

伊賀タウン情報ユーのご協力により、法人募金をすすめました。また、三重県共同募金会による「共同募金運動発展強化モデル推進事業」を活用し、「多様な企画と多様な人・団体・機関で創る共同募金運動仕組みづくり事業」を実施し、募金協力者の拡大につとめました。

共同募金運動 発展強化モデル 推進事業	<p>「多様な企画と多様な人・団体・機関で創る共同募金運動仕組みづくり事業」</p> <p>①募金でほっこり「ありがとう川柳」</p> <p>②企業とつくる啓発資材「赤い羽根キャンディ」</p> <p>③赤い羽根共同募金箱コンテスト</p> <p>④助成団体と共に行う募金運動</p>
---------------------------	--

ウ. 募金実績

・共同募金実績 9,117,065 円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	1世帯あたり500円を目安に、全世帯に協力を依頼
街頭募金	市内スーパー等11店舗にて41回実施（協力202名）
法人募金	市内の企業等へ依頼（依頼275法人、協力109法人）
学校募金	小学校14校、中学校5校、高校3校、高等専門学校1校
職域募金	市や小中学校をはじめ、市内の社会福祉法人や企業等の職員へ依頼（依頼35職域、協力34職域）
イベント募金	イベントでの募金箱設置や模擬店による啓発（15か所 23日間）
個人募金	個人での協力や、しあわせ川柳集等の共同募金啓発グッズ、募金機能付き自動販売機やマッサージ機利用による募金並びに、ボランティア活動の場や店舗・市役所等への募金箱設置（協力153件）
UMOU募金	主に市内から羽毛製品回収49点

・歳末たすけあい募金実績 3,017,745 円（期間外受付含む）

募金の種類	実施、依頼等の内容
戸別募金	1世帯あたり100円を目安に、全世帯に協力を依頼
個人募金	名張市仏教会様、個人2名様より寄附
法人募金	法人2社より寄附

・共同募金配分金の活用

平成26年度の募金運動実績に基づき本年度7,625,221円の配分を受け、地域福祉活動への助成支援並びに市社協事業に活用しました。

助成内容	金額
地域づくり組織が取り組む福祉活動	1,274,960円
地域福祉活動助成事業	5,587,034円
市社協事業	763,227円

・災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受け付けを行い、三重県共同募金会を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	送金額
長野県神城断層地震災害義援金	H26.11.27～H27.9.30	総額20,058円
屋久島町口永良部島新岳噴火災害義援金	H27.6.3～H27.12.25	9,324円
茨城県台風18号災害義援金	H27.9.11～H27.12.31	(茨城県指定) 22,619円
栃木県台風18号災害義援金		(栃木県指定) 11,226円
宮城県台風18号災害義援金		※

※台風18号災害義援金3県分（茨城県、栃木県、宮城県）11月までの合計60,060円（県指定除く）2県分（茨城県、栃木県）12月1日からの合計1,742円（県指定除く）

③助成事業を通じた活動支援

ア. 地域福祉活動助成事業

地域福祉活動助成の申請・報告については、各財源に基づく委員会等で審査・決定を行いました。また、助成事業の手続きの簡素化を図り、要綱の一部改正及び様式の見直しを行いました。これにより年度途中でも助成を申請することができるようになりました。

事業名	助成額	財源
地域見守り配食事業	1,367,500 円	共同募金配分金 (3)
	360,400 円	善意銀行寄付金 (9)
地域見守り事業	2,430,000 円	共同募金配分金 (76)
ひとり暮らし高齢者のつどい事業	273,150 円	補助金 (9)
ボランティア活動事業	1,289,534 円	共同募金配分金 (28)
福祉協力校活動事業	500,000 円	共同募金配分金 (20)
当事者・家族会活動事業	75,000 円	善意銀行寄付金 (3)

イ. 歳末たすけあい運動配分事業

本年度は 2,992,645 円の募金協力と配分を受け、歳末たすけあい運動配分事業及び広報啓発事業への活用として全額配分しました。

I-3. なばり暮らしあんしんセンター

(1) 福祉サービス利用援助事業

1. 日常生活自立支援事業

なばり日常生活自立支援センターは開設 8 年目を迎え、相談援助件数は前年度より約 1.6 倍に増加し、契約締結件数は前年度と同数となりました。今後もますます増えると予測しています。また、本事業終了にあたっては、利用者の死亡や成年後見人等への引継ぎが主な理由となっています。

①相談援助件数等

事項/対象者	認知症 高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	合計
問合わせ件数	7	3	0	1	11
初回相談件数	8	4	4	4	20
相談援助件数	1,432	1,785	1,568	285	5,070
契約締結件数	6	5	1	1	13
終了件数	5	2	2	0	9
実利用人数 (27 年度末)	13	21	19	3	56

②関係機関とのネットワーク形成

会議等への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会 ・名張市精神保健福祉関係者連絡会 ・名張市共生地域デザイン会議（権利擁護部会） ・伊賀圏域障がい福祉連絡協議会（地域移行部会） ・伊賀地域福祉後見サポートセンター（運営委員会）
---------	--

③生活支援員養成講座の開催

地域福祉課と共催で「地域福祉」担い手養成研修（生活支援員養成講座）を開催しました。（受講者数：29名、生活支援員登録者数：6名）

第1回 10月22日(木)	・「地域生活における個別支援」 ・「グループワーク」	名張市社協 名張市社協
第2回 10月29日(木)	・「医学の基礎知識」 ・「認知症高齢者への支援」「知的障がい者への支援」	名賀医師会 名張市地域包括支援センター
第3回 11月5日(木)	・「精神障がい者への支援」 ・「傾聴について」	名張市地域包括支援センター みえ傾聴ボランティア連合会
第4回 11月26日(木)	・「権利擁護について」「日常生活自立支援事業について」 ・「成年後見制度について」	名張市社協 伊賀地域福祉後見サポートセンター
第5回 12月3日(木)	・「消費者被害について」 ・「交流分析を用いたコミュニケーション力向上について」	名張市総合窓口センター 株式会社Will Staff 吉川 由美氏
第6回 12月10日(木)	・「ボランティア活動を通じて」 ・「グループワーク」「ガイダンス」	生田 由美子氏 名張市社協

④生活支援員活動の推進

生活支援員 担当件数	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	合計
	11	16	19	2	48
活動者：28名（新規5名、退職5名含む）					
生活支援員による支援 48件 /56件 支援員対応率：86%					

ア. 生活支援員定例会

現在活動中の生活支援員を対象に、年5回定例会、研修を行いました。

第1回4月23日(木)	・テーマ「消費者被害について」
第2回7月23日(木)	・テーマ「施設見学」あぐり工房・アグリー農園
第3回10月6日(火)	・三重県社協主催「生活支援員研修会」 講演 「利用者との関係づくりと支援方法について」 パネルディスカッション「支援のあり方を考える」
第4回11月26日(木)	・テーマ「マイナンバー制度の説明会」
第5回3月24日(木)	・テーマ「ふりかえり・次年度に向けての話し合い」

2. 消費者被害防止にかかる啓発

悪質商法の予防啓発と成年後見制度について啓発事業（出前講座）を実施しました。

日程	活動内容
5月11日(月)	桔梗が丘三番町高齢者いきいきサロン「消費者被害防止啓発」
7月15日(水)	コープみえ伊賀エリア会主催「成年後見制度学習会」

(2) 成年後見事業

1. 法人後見等の受任

親族関係や経済的な理由等により適切な後見人等を得られない方を中心に法人後見の受任を行いました。(平成27年度受任件数:後見5件、保佐3件)

平成24年10月より受任しておりました被保佐人(80代女性)の12月19日死亡により、受任件数は7件になりました。

支援実績	来所	訪問	電話	合計
後見(5件)	14	354	264	632
保佐(3件)	26	201	134	361

①法人後見支援員の育成・活用

身上監護面の対応を中心に被後見人等の居所訪問を行う法人後見支援員を育成し、その支援員とともに法人後見業務に取り組みました。

(法人後見支援員数:4名(新規1名、退職1名含む) / 担当件数4名)

2. 法人後見受任委員会の開催

法人後見受任の検討を行う法人後見受任委員会を市内外の法律関係者、学識経験者、民生委員児童委員、名張市等の参画のもと4回開催しました。

開催回数・日程	検討項目
第16回6月19日(金)	1. 法人後見受任者の経過報告と支援計画について 2. 法人後見受任要綱等の改正について
第17回9月2日(水)	1. 法人後見受任者の経過報告と支援計画について
第18回11月20日(金)	1. 法人後見受任者の経過報告と支援計画について 2. マイナンバーの取り扱いについて
第19回2月29日(月)	1. 法人後見受任者の経過報告と支援計画について 2. 法人後見啓発研修会について

3. 受託法人としての運営強化

①成年後見制度に関する研修会の開催

日程	活動内容
3月27日(日)	法人後見啓発研修会(成年後見制度法人後見支援事業) 「日本の福祉施策について(講演)」「成年後見制度について(講演)」 場所:名張市武道交流館いきいき 多目的ホール / 参加者:46名

②関係機関とのネットワーク形成

会議、研修等への参画	・名張市地域包括支援センターと伊賀地域福祉後見サポートセンターとの連絡会 ・三重県社協法人後見連絡会議、事例検討会、従事者養成研修
------------	--

③権利擁護に関する総合相談

関係機関と連携しながら、成年後見制度の申立、任意後見制度、高齢者からの先々の生活不安への相談等に関する相談支援を行いました。

相談・対象区分	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	計
新規相談	5	0	0	2	7
継続相談	12	0	0	12	24
問合せ	1	0	0	0	1

(3) 生活困窮者自立支援事業

平成27年度より施行された「生活困窮者自立支援法」と、改正された「生活保護法」により、さまざまな生活課題を抱える生活困窮者に対し、包括的かつ継続的な支援を実施しました。仕事に関する問題、金銭に関する問題、健康の問題、家族の問題等、本人と共に課題を整理することで、目標を定めて支援プランを作成し、プランに沿った支援を行いました。

1. 総合的な相談支援体制の確立

「なばり暮らしあんしんセンター」において、社会福祉協議会が持つ社会資源を有効に活用しながら、まちの保健室や民生委員・児童委員、地域の関係機関とも連携して、複合的な生活課題を抱える生活困窮者に包括的な対応をしてきました。

2. 職員の確保、資質向上

他機関における事例検討会や研修等に積極的に参加し、また、月1回の支援調整会議においても、積極的に意見交換を行うことで、相談支援員の確保と資質向上に努めました。

3. 関係機関との連携体制の強化

名張市健康福祉部生活支援室や名張市地域包括支援センター、名張市家庭児童相談室、いが若者サポートステーション等と連携して支援を行ってきました。関係機関と連携して支援を行うことで、複合的な生活課題を抱える困窮世帯に対して、さまざまな角度から支援を行うことが可能となり、難解なケースに対しても、より適切な支援が行えました。

4. 自立相談支援事業

①「個人」を対象とした支援として、本人と共に、本人が抱える課題を整理し、プランに基づく支援をコーディネートし、自立に向けた支援を実施しました。

②「地域」に対する働きかけとして、関係機関との連携や、社会資源の開発等を行い、地域においてより一体的な支援を実施しました。

ア. 相談件数（延件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	26	25	35	41	48	48	50	46	36	37	61	56	509
訪問	26	29	26	27	24	35	49	35	45	63	56	58	473
電話	69	48	99	80	82	131	103	133	180	130	145	171	1,371
合計	121	102	160	148	154	214	202	214	261	230	262	307	2,353

③支援調整会議の開催

本人と相談支援員が作成したプラン案をもとに、支援内容が適切なものであるか等を検討し、支援の可否を判断するとともに、地域における課題の共有と改善を目的として、支援調整会議を原則月1回、関係機関と定期的に行いました。

ア. 支援決定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援決定	0	2	1	1	2	3	2	2	2	3	5	-	23
その他・協議	0	2	7	5	1	4	6	3	4	7	4	-	43
合計	0	4	8	6	3	3	8	5	6	9	9	-	66

④生活困窮者支援緊急食糧提供事業および緊急時物品等支援事業（7月～）

三重県社会福祉協議会の実施する生活困窮者支援緊急食糧提供事業を活用し、食糧に困っている相談者に迅速な対応を行いました。

また、緊急時物品等支援事業においても、赤ちゃんのオムツや生理用品等、必要な日用品の購入のため、積極的に活用しました。

ア. 支援実施状況

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急食糧提供事業	0	1	1	2	2	1	3	2	4	16
緊急時物品等支援事業	0	1	0	1	3	0	2	0	1	8
合計	0	2	1	3	5	1	5	2	5	24

⑤三重県居住支援連絡会への参画

三重県あんしん賃貸支援事業実施要領に基づき、名張市とともに、居住支援団体として三重県に登録し、三重県居住支援連絡会の活動に参画しました。

5. 被保護者就労支援事業

①切れ目のない一体的な支援

被保護者に対する就労支援を生活困窮者の支援と一体的に行うことで、ボーダーライン上にある要支援者に対し、切れ目のない一貫した支援を行うことができました。

ア. 相談件数（延件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	22	17	15	22	9	18	11	8	13	11	14	11	171
訪問	16	9	7	16	10	5	12	7	9	17	24	12	144
電話	47	30	31	33	39	39	37	60	59	48	43	29	495
合計	85	56	53	71	58	62	60	75	81	76	81	52	810

②支援調整会議の開催

自立相談支援事業と一体的に運営することで、支援の質を確保し、また、情報の共有も容易になったことから、両事業で連携した支援が可能となりました。

ア. 支援決定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援決定	7	1	1	3	1	1	0	1	0	1	4	-	20
その他・協議	0	1	0	6	0	2	2	7	0	0	2	-	20
合計	7	2	1	9	0	3	2	8	0	1	6	-	40

6. 就労準備支援事業／被保護者就労準備支援事業

①一般就労に向けて生活習慣の改善等を促す生活自立支援

自立した生活を送る上で必要な生活習慣の形成のための指導、訓練を行いました。

②コミュニケーション能力や社会参加能力を養う社会自立支援

就労の前段階として必要な社会的能力を身に付けるための指導、訓練を行いました。

③就労に関するスキルやマナーを習得する等の就労自立支援

継続的就労経験の場を提供し、一般就労への就職活動に向けた技法や知識の習得のための支援を行いました。

ア. 支援実施状況（就労準備支援事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	0	0	0	0	0	4	4	1	0	0	5	3	17
訪問	1	1	1	1	0	6	4	1	1	3	1	3	23
電話	1	1	7	1	1	21	16	10	11	10	12	24	115
合計	2	2	8	2	1	31	24	12	12	13	18	30	155

イ. 支援実施状況（被保護者就労準備支援事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	12	0	1	3	7	12	8	4	1	6	3	4	61
訪問	1	0	6	3	4	8	10	4	6	1	0	3	46
電話	1	5	14	33	49	52	49	23	18	4	3	21	272
合計	14	5	21	39	60	72	67	31	25	11	6	28	379

④協力事業所における就労体験

地域内の事業所より協力を得て、各事業所で行う業務の一部を継続的な就労体験の場として提供し、一般就労へ向けた社会的能力の形成のための支援を行いました。就労体験は、対象者が支援者以外の人物から評価を得ることで、低下していた意欲や自信を取り戻すための手段として大きな役割を果たしました。

今年度は、新たに3カ所の事業所から協力を得て、事業参加者のニーズに合った支援メニューを提供できるようになりました。

また、体験に参加して経験を積むことで自信をつけ、協力事業所で雇用契約を結んだ参加者や、地域のボランティア活動への参加を通して、地域に自身の居場所を確保し、自立に至った参加者もいます。

ア. 支援実施状況（延件数）

事業所名	合計	事業所名	合計
社会福祉法人名張厚生協会 名張特別養護老人ホーム	7	タウン情報 YOU	12
隠おたがいさん	19	ASA ネットワーク桔梗が丘西部	5
NPO 法人 NALC 生きがいクラブ	5	NPO 法人アガペの家	8
		6事業所 合計	56

⑤ ボランティア活動への参加

社会参加や交流の機会としてイベントボランティア活動への参加を呼びかけました。

イベント等名称	活動内容	参加者数
納涼花火大会名張青年会議所ブース	設営等準備、参加賞配布	4名
赤い羽根啓発資材準備	赤い羽根キャンディ袋詰め	4名
ふれあいフェスティバル	風船等準備	5名
赤い羽根共同募金街頭募金	街頭啓発	1名

7. 家計相談支援事業

① 家計再生のための分析や再建プランの提案

家計管理支援プログラムと多重債務解決支援プログラムを用意し、多重債務や公共料金の滞納等、家計に関する生活課題を抱えている相談者に対して、情報提供や専門的な助言・指導を行うことで、相談者主体的に家計管理に取り組めるよう、早期の自立を目指した支援を実施しました。

ア. 支援実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	4	1	9	11	8	7	5	3	0	1	1	5	55
訪問	5	7	10	7	4	7	5	10	6	8	4	8	81
電話	31	40	36	24	44	41	12	33	22	25	7	17	332
合計	40	48	55	42	56	55	22	46	28	34	12	30	468

(4) 地域福祉金庫貸付事業

生活困窮者自立支援事業や改正された生活保護法の自立支援と連携することで、重要な支援ツールとしての役割を担いました。

貸付という経済的支援に、緊急食糧提供事業や家計相談支援事業等の様々な自立支援や地域での見守り等を組み合わせることで、セーフティネットとしての重要な役割を果たしました。

1. 地域福祉金庫貸付

生活困窮者に対して、緊急かつ一時的な出費により生活の維持が困難なときなどに3万円を上限に貸付の支援を行いました。また、生活保護申請世帯に対しては、保護費が支給されるまでの生活費のつなぎ資金として貸付を行いました。

貸付金額	1,835,000円（84件）
償還額	1,973,000円（103件）
未償還額（過年度分含む）	1,201,000円（59件）

2. 地域経済対策緊急資金貸付

リーマンショック以降の経済不況から、離職者を対象に一時的な資金として貸付業務を行っていましたが、現在は償還業務のみとなっています。

過年度分	償還額	0円	未償還額	120,000円（4件）
------	-----	----	------	--------------

（5）生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障害者世帯、高齢者のいる世帯の独立自活、生活安定を図るため、次の通り貸付を行いました。

相談者の世帯は、複合的な生活課題が複雑に絡み合っていることも多く、表面化した困窮に対する経済的支援だけでは課題の解決に至らないことも多いです。そのため、貸付という経済的支援に併せて、さまざまな自立支援を組み合わせた包括的な支援を行ってきました。

①相談及び貸付内容

資金の種類		相談件数 (実数)	相談件数 (延数)	貸付件数	貸付金額
総合支援資金		7	76	0	0円
福祉資金	療養費・介護費	8	41	0	0円
	福祉費	25	306	4	460,000円
	福祉費（住宅）	1	31	0	0円
	障害者自動車購入費	12	81	1	1,560,000円
	生業費	3	11	0	0円
	技能習得費	3	10	0	0円
	緊急小口資金	34	229	3	220,000円
教育支援資金		12	185	0	0円
不動産担保型生活資金		1	5	0	0円
その他		1	1	0	－円
合計		107	976	8	2,240,000円

②長期滞納者面談

面談日	面談者数
7月21日	1名

（6）名張市国民健康保険出産費資金貸付事業

国民健康保険に加入しており、出産育児一時金の支給を受けることが見込まれる世帯に対する貸付ですが、現在は償還業務のみとなっています。

過年度分	償還額	20,000円	未償還額	70,000円（1件）
------	-----	---------	------	-------------

I-4. 善意銀行事業

(1) 適正な運用管理

住民からの寄附を受け効果的に配分・活用することを目的として、名張市善意銀行の運営を行いました。

①善意銀行運営委員会の開催

開催日：5月21日（木）

議題1) 平成26年度寄附の受領実績と配分について

2) 地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定と審査について

開催日：3月23日（水）

議題1) 平成27年度寄附実績と配分について

2) 平成28年度事業計画について

②寄附受領実績

種別	件数	金額
現金の寄附	19件 (うち指定寄附2件)	2,315,359円

(2) 計画的な運用

事業内容	金額	備考
(1) 当事者・家族会活動事業	75,000円	3件
(2) 地域見守り配食事業	360,400円	3件
(3) 罹災者救援要綱に基づく見舞金	20,000円	災害見舞金1件
(4) 車いす一時貸出事業	97,632円	車いす修理、消毒等
(5) 救急医療情報キットの補充	54,432円	マグネット300セット
(6) 指定寄附分	1,010,000円	名張養護学園へ
計	1,617,464円	

I-5. 日本赤十字社名張市地区事業

(1) 日本赤十字社名張市地区事業

1. 赤十字運動月間における住民への赤十字活動の周知と社資の募集

日本赤十字社の人道的諸活動を行うための活動財源として、地域づくり組織を通して、全世帯を対象に一戸あたり500円の社費の協力をお願いしました。

日赤社資の実績

社資の内容	金額
戸別	6,893,502円
法人	570,274円
個人	12,000円
その他	23,111円
合計	7,498,887円

2. 社資募集にかかる地域づくり組織への協力依頼

4月から6月にかけて、12地域の会合に出向き、協力を依頼しました。

3. 地域づくり組織への福祉活動助成、講習会開催の促進

地域における防災等への取組みに対し、活動費を助成しました。

また、市内のさまざまなイベントの開催に際し、日本赤十字社三重県支部より救護要員の派遣を3回、赤十字講習会の講師派遣を5回行いました。

4. 名張市と連携した迅速な罹災者への救援物資の支給

平成28年1月1日の住宅全焼（名張市赤目町柏原地内）につき、毛布及び緊急セットを支給しました。

5. 「名張市総合福祉センターふれあい」における災害対策

エレベーター（2基）内に、閉じ込め対策用品を収納したエレベーター用防災キャビネットを設置しました。

Ⅱ 【在宅福祉サービス拠点】（介護支援課）

（１）事業経営管理体制の整備

１．経営管理体制の整備

①事業実績

事業名	事業実績	摘要				
老人デイサービス事業	<p>【事業目標の達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25.0 人/日</td> <td>25.7 人/日</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 稼働率：91.8% 平均介護度：2.57 (2.71) 延べ利用者比率： 介護 92%・予防 8% 75 歳以上比率：91% 	目標	実績	25.0 人/日	25.7 人/日	<p>27 年度の制度改正を機に、要介護度の高い方でもしっかりと受容れることができるように「中重度ケア体制」の要件を整備しました。また認知症ケア対応力を向上していくための職員育成を進めました。業績については堅調に推移し、今後の事業継続に必要な費用の積立を行うなど財務基盤の整備を行いました。</p>
目標	実績					
25.0 人/日	25.7 人/日					
訪問看護事業	<p>【事業目標の達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,574 人/年</td> <td>2,590 人/年</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 平均介護度：2.99 (3.13) 延べ利用者比率： 介護 81%・予防 2%・ 医療 17% 75 歳以上比率：75% 地区比率： 名張 64%・青山 35% 	目標	実績	2,574 人/年	2,590 人/年	<p>社協において医療看護サービスを実施していることは今後の地域包括ケア推進において大きな強みとなることから、27 年度は職員を 1 名新規採用し、また専門看護師の育成を行うなど、提供体制の基盤整備を行いました。業績については、職員育成中であったこともあり、短期集中型ケアの必要な方への効率的なサービス提供ができず、減益決算となっています。</p>
目標	実績					
2,574 人/年	2,590 人/年					
居宅介護支援事業	<p>【事業目標の達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>170 件/月</td> <td>186 件/月</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 平均介護度：2.50 (2.55) 要介護度 3 以上比率： 43.5% 延べ利用者比率： 介護 97%・予防 3% 75 歳以上比率：83% 	目標	実績	170 件/月	186 件/月	<p>「特定事業所」（質の高いケアマネジメントを実施する事業所）としての要件と機能の維持・向上を図るため、主任介護支援専門員研修修了者の増と新規に職員を採用しました。業績については堅調に推移し、今後の事業継続に必要な費用の積立を行うなどの財務基盤の整備を行いました。</p>
目標	実績					
170 件/月	186 件/月					

②経営管理体制の整備

業務管理体制の整備	<p>各種法令に則った事業を適正に実施しながら、事業経営課題（業績の管理やサービスの質の維持向上、勤務する職員管理）の共有と、27 年度制度改正・報酬改定への対応について、事業区分を越えて総合的に協議し、健全な経営とサービス提供に努めました。</p>
-----------	---

	事業運営管理会議	課長・各事業管理者	11回/年		
	事業所運営会議	居宅介護	46回/年		
		訪問看護	17回/年		
		通所介護	11回/年		
	老人福祉センター	10回/年			
業務の標準化	各事業所においても、サービス向上に向けた課題に従事する職員全員で共有・検討する場を設け、よりよいサービス提供の取組みに努めました。				
	サービス向上 検討委員会	課長・各事業管理者	9回/年		
	(リスクマネジメント実績)				
	事業名	相談 受付票	ひやり ハット	事故 発生報告	計
	居宅介護支援	6	0	0	6
	訪問看護	7	1	1	9
通所介護	29	0	1	30	
老人福祉センター	6	0	0	6	
	計	48	1	2	51
財政基盤の整備	将来の事業活動に必要な設備・備品や人材確保・育成等の資金を積立し、社会福祉法人制度改革に向けた財務管理基盤の整備を進めました。				

2. 職員管理・人材確保・人材育成

職員採用	各事業所において必要人員の確保に努めました。 ・居宅介護支援事業所 ケアマネジャー1名（4月採用） ・訪問看護事業 看護師1名（4月採用）
人材育成	制度改正に伴う専門的ケア（ターミナルケア、認知症ケア、リハビリケア、中重度ケア）への対応力向上を図りました。 ・主任介護支援専門員研修修了者 1名 ・専門看護師育成 1名 ・認知症介護実践研修修了者 1名 ・認知症介護実践リーダー研修修了者 1名
ケアマネジャー・看護師給与の見直し	昨年度実施の中途採用者給与見直しとの整合性（逆転現象の解消）を図るために、既存職員の給与を見直しました。
目標管理制度への対応	管理者が主体的に配属職員への具体的指導・助言ができるよう、課員全員の目標内容を確認し、面談を行いました。
キャリアアップ支援	キャリアアップ支援要綱作成協力と訪問看護事業所より、「専門看護師」資格取得に向けた取組みを進めました。
医療行為業務への対応	訪問看護及びデイサービスにおける看護師の医療行為に対する保険の見直しを行い、医療ニーズに対する専門的ケア実施に向けた環境整備を行いました。

(2) 事業別取組み実績

1. 老人デイサービス事業（在宅介護支援）

デイサービスセンターにおいて、入浴・食事・機能訓練・レクリエーションを提供し、利用者の方の自立支援及び家族の介護負担軽減に努めました。

①年間利用者数

給付種別	年間実利用者数		年間延利用者数	
予防（要支援1及び2）	90	11%	624	8%
介護（要介護1から5）	738	89%	7,327	92%
計	828		7,951	

②利用者の特性

ア. 年齢

	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上	(内85歳以上)
実利用者数	0	74	754	529
	—	9%	91%	64%
延利用者数		651	7,300	5,328
	—	8%	92%	67%

イ. 要介護区分

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
実利用者数	90	150	220	172	113	83
	11%	18%	27%	21%	14%	10%
延利用者数	624	1,346	2,333	1,867	1,002	779
	8%	17%	29%	23%	13%	10%

③交流事業の実施

昭和保育園交流事業	24回
福祉施設体験学習（つつじが丘小学校）	1回

④ボランティアによる支援

ボランティア名	内容
みえ長寿推進協力員伊賀連絡会	レクリエーションダンス 12回
箏曲すみれ会	琴演奏 1回
ドレミの会	唄・踊り披露 1回
いすず会	踊り披露 2回
チームふたば	トーンチャイム 1回
JAKA&BIG	キッズダンス 2回
ぜに太鼓クラブ	ぜに太鼓演奏 1回
伊賀琉真太鼓	太鼓演奏 2回
ファニークラブ	ウクレレ演奏 2回
個人	大和幸司さん演歌 4回

⑤人材養成への協力

内 容	月 日	対象者数
教員免許法特例に基づく 介護体験への協力	①8月3日(月)～8月7日(金)	2名
	②9月15日(火)～9月19日(土)	
伊賀市桜丘高等学校 職場体験事業への協力	6月27日(土)、7月11日(土)	1名

⑥その他

ふれあい通信（行事予定や職員からのワンポイントアドバイス等）の発行（毎月発行）

2. 訪問看護事業（在宅療養支援）

名賀医師会の協力に基づく訪問看護ステーションとして、名張市及び伊賀市旧青山町をエリアに、訪問看護師が主治医及び介護支援専門員と連携しながら生活の場へ赴き、在宅での療養生活支援に努めました。

①年間利用者数

給付種別	年間実利用者数		年間延利用者数	
予防（要支援1及び2）	15	3%	64	2%
介護（要介護1から5）	349	79%	2,105	81%
医療（乳幼児から高齢者）	79	18%	421	17%
計	443		2,590	

②利用者の特性

ア. 年齢

	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上	(内85歳以上)
実利用者数	25	104	314	178
	6%	23%	71%	40%
延利用者数	130	516	1,944	1,087
	5%	20%	75%	42%

イ. 要介護区分（医療保険分含む）

	医 療	介 護					
		要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
実利用者数	79	15	79	68	41	94	67
	18%	4%	18%	15%	9%	21%	15%
延利用者数	421	64	398	454	158	659	436
	16%	3%	15%	18%	6%	25%	17%

③地域別利用状況

	実利用者数		延利用者数	
名張	299	68%	1,649	64%
伊賀市旧青山町	138	31%	900	35%
エリア外	6	1%	41	1%

④24 時間 365 日の対応（緊急訪問対応件数）

通常 (8:30~17:30)	早 朝 (6:00~8:30)	夜 間 (17:30~22:00)	深 夜 (22:00~6:00)
55	1	13	5
74%	1%	18%	7%

※その他緊急相談対応： 113 件

⑤関係機関との連携

ア. ケアプラン提供事業所数

居宅介護支援事業所		地域包括支援センター	
名張	伊賀	名張	伊賀
14	2	1	1

イ. 医療機関との連携

	名張市の 医療機関	伊賀市の 医療機関	その他県内の 医療機関
医療機関数	15	4	7
	58%	15%	27%
指示書数	275	126	42
	62%	28%	10%

ウ. その他

会議名	備 考
三重県訪問看護ステーション連絡協議会 伊賀地区ブロック会議	名張市・伊賀市の訪問看護ステーション管理者による会議の開催（12回）

⑥人材養成への協力

内 容	月 日	対象者数
三重県訪問看護師養成研修への協力	10月21日(水)～10月23日(金)	1名
三重大学医学部看護学科卒業研究への協力	10月28日(水)	1名
名張私立病院看護師研修事業への協力	11月18日(水)～11月20日(金)	1名

3. 居宅介護支援事業（相談援助）

介護支援専門員（ケアマネジャー）により、介護を必要とする方の心身の状況、意向を踏まえた居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、各サービスが適切に提供されるよう関係機関との連携・連絡調整を図りました。

①年間利用者数

給付種別	年間延利用者数	
予防（要支援1及び2）	80	4%
介護（要介護1から5）	2,151	96%
計	2,231	

②利用者の特性

ア. 年齢

65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上	(内 85歳以上)
67	313	1,851	1,019
3%	14%	83%	46%

イ. 要介護区分

要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
80	551	631	500	279	190
3%	25%	28%	22%	13%	9%

③24時間 365日の対応（緊急相談調整件数）

通常 (8:30~17:30)	早朝 (6:00~8:30)	夜間 (17:30~22:00)	深夜 (22:00~6:00)
265	78	76	6
62%	19%	18%	1%

※計： 425 件 ※月平均： 35.4 件

④各種代行業務

(件)

介護保険要介護（更新）認定・要支援（更新）認定申請書	201
要介護認定等資料提供申出書	199
短期入所に係る長期継続利用理由書	8
保険証返還	57
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	76
紙おむつ等給付事業利用申請書	32
軽度生活援助事業利用申請書	1
介護保険居宅介護（支援）住宅改修費支給申請書・住宅改修が必要な理由書	32
介護保険居宅介護（支援）福祉用具購入費支給申請書	27
介護保険負担限度額認定申請書	7
名張市配食サービス事業利用申請書	4
名張市訪問理美容サービス事業利用申請書	1
指定（介護予防）福祉用具貸与理由書	9
通院介助のための乗車又は降車の介助が中心である場合のケアプランの提出	9

Ⅲ 【昭和保育園拠点】（昭和保育園）

（1）事業の概要

1. 保育目標

昭和保育園の めざす子ども像	心身ともに健康な子ども ～よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども～ ○体力のある子ども ○意欲のある子ども ○友だちと感じあえる子ども
-------------------	---

2. 保育実績

保育人数	0歳児 15名、1歳児 24名、2歳児 24名 3歳児 30名、4歳児 25名、5歳児 30名 合計 148名を保育しました。
土曜日保育	保護者のニーズにより、延べ2,179名 毎週、平均43名の保育をしました。

3. 年間行事

4月4日	はじまりのつどい	10月25日	秋祭り親子神輿
4月8日	よもぎ摘み	10月30日	秋の遠足
4月9日	藤堂家花見	11月13日	親子遠足
5月11日	春の交通安全出陣式	12月17日	冬のお楽しみ会
5月13日	春の遠足	12月28日	修了式
6月5日	人権擁護員お話し会	1月4日	新年の集い
7月10日	七夕会	2月6日	生活発表会
7月14日	プール開き	2月8日	修了記念撮影
7月24日	夏のお楽しみ会	2月9日	春のつどい
8月1日	お久しぶり1年生	3月9日	一日入園
8月6日	親子反戦映画会	3月11日	お別れ会
8月25・26日	プール自由参観	3月14日	お別れ遠足
9月4日	子ども虐待防止運動	3月26日	卒園式
10月3日	運動会	3月28日	修了式
10月8日	芋ほり		

（2）適切な運営体制確立

1. 運営委員会の開催

保護者や地域に開かれた運営を推進するため、運営委員会を2回開催し、保育計画や保育内容についての協議を行いました。

開催日	内 容
第1回 (6月13日)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度保育計画について 保育課程（年間計画・保健計画・食育計画） 平成26年度の事業報告 平成27年度の事業計画
第2回 (2月13日)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度の状況報告 平成28年度の事業計画

2. 施設環境整備の推進

環境整備のため設置	<ul style="list-style-type: none"> 飛散防止フィルム ベビーカー1台 AED（自動体外式除細動器） 園外遊具（登り棒、うんてい、乳児用遊具） 遊戯室エアコン 調乳室・給食室の網戸取り付け
老朽化のため改修	<ul style="list-style-type: none"> 保育室エアコン 職員用トイレ（水漏れ） 乳児室カーペット張り替え 乳児用屋外製スロープ 調乳室換気扇 遊戯室照明器具

3. 健康管理の実施

内科健診	5月21日、10月29日
尿・ぎょう虫検査	4月21日
歯科健診	6月25日
歯みがき指導	7月9日
5歳児健診	6月26日、11月20日
身体計測	乳児（毎月）、幼児（隔月）
視力検査	10月20日（5歳児）、2月17日（4歳児）

ア. 職員の健康診断

イ. 給食・調乳に係る職員の検便（毎月2回）

ウ. 防虫対策（可動式除菌・害虫駆除器クッカノンスーパー設置）

4. 防火計画実施と交通安全指導の推進

年間計画を立て、毎月1回避難訓練を実施しました。また、保護者代表の幼児交通安全クラブ員3名がリーダーとなり、交通安全教室を開催しました。

①避難訓練実施

4月	講話（火災・地震）	10月	火災想定
5月	火災想定	11月	長時間延長保育中
6月	消防署員による指導	12月	消防署員による指導

7月	不審者進入想定	1月	地震想定
8月	風水害想定	2月	近隣よりの火災想定
9月	地震想定	3月	総合訓練

②交通安全教室（指導）実施

5月11日	春の交通安全出陣式参加 交通安全宣言を行う
6月10日	交通安全教室実施（名張警察より指導を受ける）
3月2日	交通安全教室実施（三重県交通安全協会より指導を受ける）

5. 保護者との連携の推進

各年齢ごとに年1回、おやつ試食会と同日にクラス懇談会を開催し、保育園での遊びや生活の様子を伝えました。子育て相談や、就学前相談・個人懇談を実施し、保護者との連携を図りました。

6. 地域との交流の推進

- ①藤堂家邸の花見（4月6日）
- ②丸之内地区子ども神輿行列参加（10月25日）
- ③寿栄神社境内散歩（随時）
- ④高齢者との交流（デイサービスセンター「ふれあい」）月2回

7. ふれあい活動

- ①小、中、高校生とのふれあい活動（夏休み、冬休み利用、延べ26名）
- ②職場体験の受け入れ（名張中、赤目中、南中より15名）

8. 職員の資質向上の推進

年間計画を立て、園内研修を進め、園外研修にも積極的に参加し、職員のスキルアップに結びました。

①研修内容

園内研修	<ul style="list-style-type: none"> ・人権保育・障害児保育・公開保育・乳児保育 ・幼児保育・救急救命
園外研修	<ul style="list-style-type: none"> ・な同会（なばりの同和保育を考える会） ・障害児保育・乳児保育・幼児保育 ・発達支援コーディネーター・保健 ・保育実践・地域子育て

②実習生の受入

実習目的	人数	学校名
保育実習	7名	四天王寺大学 他5校
小児看護	7名	名張市立看護専門学校
インターンシップ	6名	名張高等学校

(3) 特別保育事業

1. 低年齢保育事業の推進

生後6カ月より受け入れ、0歳児～2歳児まで定員数の63名の子どもを預かりました。年齢の発達に応じ、年間・月別に保育計画を持ち、一人ひとりの子どもの個別計画や個人記録をとり、保護者支援（育児相談やアドバイス、看護師による健康相談）を行いました。

2. 延長保育事業の推進

①延長保育の利用実績（平日18:15～19:15）

4月	108名	10月	118名
5月	104名	11月	106名
6月	126名	12月	148名
7月	135名	1月	94名
8月	105名	2月	106名
9月	95名	3月	135名

一ヵ月平均 115名 年間延べ利用人数 1,380名

②スポット保育の利用実績

長時間保育・延長保育の登録園児以外にも朝、夕の突発的な長時間保育・延長保育に対応しました。

③障害児保育事業の推進

個別支援計画を立て、4歳児1名の障害児保育を行いました。

5歳児健診、定期巡回訪問、就学前教育相談を行い、途切れのない発達支援を行いました。

④一時預かり保育事業の推進

保護者の就労や疾病、育児に伴う心理的・肉体的負担の解消など私的な理由やその他の事由により保育を必要とする児童を、延べ523名預かりました。

	利用児童数						
	半日			一日			計
	①勤務 形態等	②緊急 一時的	③私的 理由等	①勤務 形態等	②緊急 形態等	③私的 理由等	
合計	26名	24名	41名	177名	140名	115名	523名

(4) マイ保育ステーションの取組み（地域の子育て支援事業の推進）

育児体験や育児相談、一時預かりサービス利用を通して、妊娠期から途切れのない地域の子育て支援の拠点として事業に取り組みました。

1. マイ保育ステーションの実績

項目	人数	内容
新規登録	184名	未就園児、妊婦さんの登録者

利用人数	延べ1,157名	リピーターの増加
一時預かり無料体験	45名	年1回、午前もしくは午後の半日無料で一時預かり保育の実施

2. 毎月の行事内容

行 事	内 容
わらべうた	第1木曜：わらべうた・ふれあい遊び
バルーンアート	第2木曜：風船遊び
折り紙で遊ぼう	第3木曜：親子で折り紙遊び
ミッチーと遊ぼう	第4木曜：パネルシアター・絵本・わらべうた
絵本大好き	ステーションのスタッフによる絵本のお話会
ナースと一緒に	昭和保育園の看護師による身体計測と相談
その他	園庭開放・夏期時は水あそび

(5) 「子ども子育て支援新制度」に沿った事業展開

各年齢（0歳児～5歳児）毎に「養護」と「教育」のねらいを持ち、日々の保育実践を行いました。また、保育士の質の向上のため専門研修に参加しました。

IV 【総合福祉センターふれあい拠点】（総務課）

（1）総合福祉センター指定管理事業

1. 施設の維持管理

①設備の保守点検・修繕等による安全管理の徹底

ア. 名張市への設備等更新、大規模修繕実施の要請

施設、設備の老朽化による機器の故障や施設の汚損が多数発生しているため、危険度や重要度を考慮し、市に優先順位を明確にした上で、GHP、バコティンヒーター、冷温水発生機、受電設備、非常用発電設備、中央監視システム、電話交換機等、修繕に係る「名張市総合福祉センターふれあい設備等要修繕箇所に係る報告」にまとめ、要請を行いました。

【主な報告内容】

GHPの更新（7基）、給湯ボイラーの更新、冷温水発生機の更新

イ. 施設の管理状況

管理に要した費用	16,919,585円
----------	-------------

ウ. 施設の修繕状況

危険度や重要度を考慮し、市と協議しながら、優先順位をつけて、修繕を行いました。

主な修繕箇所	消防設備機器修繕、バコティンヒーター修繕、冷却塔ファンベルト取替修繕、2階西玄関外側自動扉開閉装置修繕、ホール前待合椅子修繕、多目的ホールチチ紐取替修繕、1階大会議室系統空気調和機冷温水弁操作器交換修繕、1階男子トイレ修繕、多目的ホールスクリーンバトンウインチ取替修繕、等
修繕に要した費用	2,001,628円

②施設利用状況

ア. 会議室・ホール利用件数：2,359件（前年比120件増）

イ. 利用料・参加費収入

内 訳	金 額
会議室・ホール	3,893,420円
駐車場	253,600円
コピー・印刷代	285,769円
卓球台	118,700円
合 計	4,551,489円

③環境美化活動の計画的実施による施設周辺の管理

ア. 総合福祉センター内各事業所職員による美化活動

年間を通じて施設周辺の除草作業や周辺歩道等の落葉掃きを行いました。

（延べ12回、延べ379人参加）

2. 施設利用者の意見反映

利用者の意見は、センター内に設置した「ご意見箱」や窓口により把握し、施設サービスや職員資質の向上につなげるように努めました。

3. 防災対策

①防火管理委員会の開催

2回：6月29日（月）、11月25日（水）

②消防計画に基づく防災訓練の実施

総合福祉センター内での火災発生を想定し、各事業所職員を対象とした防災訓練を実施しました。

実施日時	8月6日(木)13:30~15:00	12月15日(火)13:30~15:00
訓練内容	<ul style="list-style-type: none">・通報訓練（消防署・館内）・避難誘導訓練・自衛消防組織の役割について説明会・水消火器消火訓練	<ul style="list-style-type: none">・通報訓練（消防署・館内）・避難誘導訓練・AED（自動体外式除細動器）の使用方法について説明会・水消火器消火訓練
参加者	社協、名張連絡所、名張市シルバー人材センター、ハローワークプラザ名張、家庭児童相談室、デイサービス利用者	

4. その他

総合福祉センターふれあいとして、10月1日（木）より、1階エントランスに、AED（自動体外式除細動器）を設置しました。

V 【老人福祉センター「ふれあい」拠点】（介護支援課）

(1) 老人福祉センター指定管理事業

老人福祉センター「ふれあい」において、「生きがい活動支援通所事業」及び「介護予防通所事業」を実施し、市内在住の高齢者の交流や健康づくり、介護予防の推進に努めました。

①老人福祉センター管理運営事業

ア. 利用状況

開館日数	298 日		
年間延べ利用者数	17,081 名	浴室延べ利用者数	9,495 名
		カラオケ延べ利用者数	11,683 名
		土曜日の障害者利用者数	146 名

②生きがい活動支援通所事業

ア. 事業実績

基本事業	<ul style="list-style-type: none"> 生活相談：受付等にて、随時利用者の生活相談に応じました。 映画会：月1回6日間（月～土）映画の上映を実施しました。 ふれあい交番の日：月1回警察官による地域防犯や交通安全に関する話を実施しました。 		
風呂の日の実施	利用者のおよそ6割以上が入浴を利用し、利用者からも薬湯等を喜ばれ、利用促進を図るサービス事業として実施しました。	毎月第3土曜日	12月は1週間（月～土）
各種発表会の開催	利用者の発表と交流の場を提供し、楽しみを増やすことで生きがいにつながるよう支援するため各種発表会を開催しました。また、利用者によって組織された実行委員会の企画運営など、利用者の主体的な活動を支援しました。		
	ビリヤード大会	7月18日（土） 1月21日（土） 3月26日（土）	参加者：12名 参加者：9名 参加者：12名
	七夕カラオケ大会	7月4日（土）	参加者：70組
	20周年カラオケ大会	10月31日（土）	参加者：63名
	芸能発表会	12月5日（土）	参加組：11組
	（ボランティアで銭太鼓の発表）		
	新春カラオケ大会	1月16日（土）	参加者：70名
作品発表会（1週間開催）	4月4日（土）迄	参加者：80名	
20周年記念イベント	「20周年カラオケ大会」を「ふれあいフェスティバル」と同日開催し、施設利用料を無料にしたうえで、施設見学会も実施し、老人福祉センターの周知を図りました。		
地域活動支援	名張地区民生委員児童委員協議会が実施する「高齢者のつどい」の支援	6月4日（木）	参加者：60名

	名張地区松寿会「カラオケ大会」開催支援	7月2日(木)	参加者：40名
自主サークル活動	サークル名	回数	延参加者数
	カラオケ教室	20回	598名
	ふれあいハーモニー	23回	159名
	いきいき書道クラブ (漢字・かな)	12回	209名
	レクリエーションサークル	6回	19名
	茶道教室	12回	42名
	ながつき友の会	12回	79名
	ビリヤード教室	49回	247名
	ばりばりサークル	5回	24名
	計	139回	1,377名

イ. ボランティア協力実績

内 容	回数	延協力者数
カラオケ指導	20回	20名
カラオケ入力	86回	86名
コーラス指導	23回	46名
大会支援(カラオケ大会・芸能発表会)	3回	4名
スクエアステップ教室支援 (スクエアステップリーダー)	33回	113名
お達者や脳教室支援(学習サポーター)	17回	87名

(2) 介護予防事業

① 独自事業実績

メニュー	内容	備考
スクエアステップ教室	高齢者の介護予防、認知機能向上、体力づくりに効果がある「スクエアステップ」をリーダー(ボランティア)の協力を得て実施しました。 (地域福祉課リーダー養成研修生3名受入)	実施日数47日 参加者920名
健康チェックデー 5日間(年2回)	血圧、体重、身長、BMI、体力測定を行い、健康相談を実施しました。	延べ44名 4月、12月
私の健康カルテ	自分自身の健康管理や介護予防への意識付けを目的に発行しました。	発行部数：4冊 (健康チェックデー)
歯科衛生士による「歯科相談」	歯科衛生士による、お口のアンケートと歯科相談を実施しました。	実施日数：2日 参加者50名

②一次予防（一般介護予防）事業実績

メニュー	内容	備考
健康相談	受付にて、希望者に血圧測定・健康相談に応じる。	延べ1,049名
一般マシン・トレーニング教室	年間を5クールに分け、1クール7回のコースで、運動器機能の向上のため、マシン・トレーニング教室を実施（月～金曜日に実施）	延べ2,905名 実施日数：175日
ヘルスアップ教室	心身ともに健康でいきいきと、生涯健康生活を目指していただくことを目的に実施 ①作って食べようバイキング料理	延べ26名

③二次予防事業実績

	実施時期	実施日数	実参加者数	延参加者数
お達者や脳教室説明会	7月23日	1日	23名	—
お達者や脳教室サポーター養成研修	6月18日	1日	6名	—
お達者や脳教室	7月～11月	17日	12名	83名

（介護予防・日常生活支援総合事業）

	実施時期	実施日数	実参加者数	延参加者数
介護予防のための運動教室	11月～3月	64日	21名	255名